

新日本婦人の会が

細田博之 衆院議長発言に抗議

細田博之衆院議長が、5月、市堂形町の細田氏の事務所に自民党参院議員の政治資金。パーティーで国会議員歳費に對して小額のように発言したことや、女性記者へのセクハラ疑惑報道を巡り、新日本婦人の会島根県本部が1日、説明責任を果たした上で議長を辞任するよう求める要請文を松江



要請文を手渡す
県本部 山崎会長

「衆議院議長職は民主主義の根幹である三権分立の一つの国会の長として、その言動に厳しい品格を求められる」

文書では「歳費が「100万円しかない」との発言は、県下の多くの女性たちから「あまりに私たちの金銭感覚とずれている。女性たちがパートや臨時で1年間働いてもらう金額だ。」「コロナ禍や物価が上がって大変な中、必死でやりくりしている地元民の生活実態が全くわかっていない。そんな人に政治をやってほしくない。」「と厳しい批判の声が上がっています」と市民の声を伝えています。

県本部の山崎泰子会長は

「衆議院議長職は民主主義の根幹である三権分立の一つの国会の長として、その言動に厳しい品格を求められる」

「国会が先頭に立ってセクハラを根絶し、ジェンダー平等社会の実現をめざさなければならぬ時に、議長自らがこのような疑惑を持たれること自体、議長職として不適格」などと文書を読み上げ抗議しました。

この問題で3日、立憲民主党、共産党、社民党が、議長公邸で細田議長に對し、国会での説明に応じないとして抗議の申入れを行っています。

県議会が島根原発2号機再稼働を了承

福住参院選挙区候補と県議・市議団が抗議

中国電力島根原発2号機の再稼働を巡って、島根県議会は5月定例会初日の26日の本会議で、自民、公明らの賛成多数で2号機の再稼働を了承しました。

日本共産党からは、尾村利成県議が討論に立ち、原発稼働の判断基準に「県民の命と安全が守れるのか、県民の理解と合意が得られているのか」をモノサシとすべきと強調。

ある道は、原発ゼロを決断し、省エネ・再エネ推進で新たな産業と雇用を創出することだ」と主張しました。

本会議終了後、日本共産党の福住ひでゆき参院鳥取・島根選挙区候補、尾村、大國陽介の両県議、舟木健治、たねばなふみ両市議が、同原発から約9kmの商店街前で抗議の宣伝を行いました。福住氏は「参院選で原発推進勢力に厳しい審判を下そう」と呼びかけました。同日昼には、原発ゼロをめざす島根の会と金曜日行動が県庁前で再稼働反対の集会を開きました。



左から大國県議、福住候補、尾村県議、たねばな・舟木市議

での原発攻撃への県民不安を払しょくする対応策は確立されておらず、使用済み核燃料や核のゴミの処理方法も未確立であること、市民団体が学校や病院などに実施したアンケート調査で約6割が「避難計画に基づく対応は不可能」と回答していることなど10点の理由を述べ「島根の希望

ある道は、原発ゼロを決断し、省エネ・再エネ推進で新たな産業と雇用を創出することだ」と主張しました。

本会議終了後、日本共産党の福住ひでゆき参院鳥取・島根選挙区候補、尾村、大國陽介の両県議、舟木健治、たねばなふみ両市議が、同原発から約9kmの商店街前で抗議の宣伝を行いました。福住氏は「参院選で原発推進勢力に厳しい審判を下そう」と呼びかけました。同日昼には、原発ゼロをめざす島根の会と金曜日行動が県庁前で再稼働反対の集会を開きました。

参院選 日本共産党に期待します

消費税5%へ減税 インボイス中止を

「コロナ禍が収束しないまま、国民・中小業者の暮らしと営業は危機的状態が続いています。燃油や資材をはじめ食品や生活必需品の大幅な値上げが追い打ちをかけています。一方で、賃金は上がらない、年金は下がり、医療費は上がったままです。」



島商連業有後援会会長 諸遊克巳

「消費税5%へ減税」は切実な願いです。消費税は全ての商品やサービスの流通段階に課税されています。納税義務者は課税売上高が1000万円を超える事業者です。来年10月実施予定のインボイス制度の導入は、免税業者だけでなく課税業者にとっても深刻な問題です。インボイス制度は免税業者を課税業者に仕立て上げ消費税2480億円を搾り取るという計画です。この制度は、税率変更を

伴わない増税策で「国民負担増」になります。このままでは消費者にとっても、身近な商店や業者さんがなくなることに、生活の便利さが損なわれます。7月の参院選挙では、消費税5%への引き下げ、インボイス制度実施中止など切実な要求を掲げ、改憲・大軍拡を拒む憲政転換への審判を下すことはありませんか。民主的な税制・税務行政と憲法が生きる社会の実現へ力を合わせましょう。

ジェンダー平等へ声を上げて

「コロナ危機」ジェンダー平等を求める声は劇的に高まっています。

労働は高度な専門性をもつ仕事でありながら低賃金が当たり前になっています。

書者に寄り添った法改正を求めます。引き続き「選択的夫婦別姓」を求めます。いろいろな家族のかたちがあつていいのではないのでしょうか。

「コロナ禍で低賃金の非正規雇用で多くの女性が仕事を失いました。なくてはならない保育や介護など女性が働くケア

正社員でも女性の賃金は男性の7割といわれ、その賃金格差が低年金となり、定年後も生活のため働かざるをえません。今すぐ男女の賃金格差の是正を求めます。今、「生理の貧困」が話題ですが、女性への経済的支援の課題にとどまらない女性の健康や権利の尊重を求める動きとしても重要です。

日本のジェンダーギャップ指数は世界120位。誰でも尊厳を持ち、自らの力を存分に発揮できるような社会にしていきたいです。



新日本婦人の会松江支部長 神門喜久子

「性暴力」は魂の殺人とも言われる重大な犯罪です。被害者

新日本婦人の会松江支部長 神門 喜久子